

ジェーソン・ディケンス
コロラド州立大学

今日、書道についてお話ししたいと思います。三年ぐらい前に、私は書道を勉強し始めました。その日以来、書道も日本語も勉強して、書道は日本語の勉強を助けてくれました。書道は筆と炭を使用する高度な芸術様式です。この芸術を習うことによって日本語をより理解できます。すべての字には個々の意味と書き方があるので、日本語の勉強を助けると思います。書道を勉強すると、たくさん漢字を習ったり、漢字の書き方を習ったりします。日本の文化を理解するのもとても大切なことなので、日本語を勉強しながら書道をするのは必要だと思います。書道の歴史は長くて興味深く、中国から入ってきた芸術で、たくさんの書家の名前があります。書道という芸術は王羲之という中国人によって作られました。そして、8世紀にはじめて、日本に紹介されました。平安時代、3人の有能な日本人が王羲之による書道を勉強し、有名になりました。この日本人の名前は「空海」と「さが皇帝」と「たちばなのはやなり」で、この3人は「三筆」として知られています。三筆による書は中国の書道の古典的な美を代表していると考えられています。書道を勉強する人たちにとって、この三筆の書に親しんだらいいと思います。11世紀までに、この三筆は「おののとうふう」、「ふじわらのすけまさ」、「ふじわらのゆきなり」によって引き継がれ、三蹟と呼ばれ、日本で最初の独創的な書道形式を作り上げました。

書道の基本的な形式は楷書、行書、草書の三種類です。最初に勉強するのは楷書で、この書体を習うことは、文字の形や意味をより理解できるので、とても大切な過程です。次の形式は行書で、その文字の感覚を得るために、習います。行書と草書を学ぶことによって日本の文化を垣間見ることができると思います。私は、書道を一生勉強するつもりです。卒業した後、日本へ行って、書道の先生を見つけ、さらに精進するつもりです。

最後に、御静聴感謝申し上げます。